



丸井健康保険組合 御中

シミックソリューションズ株式
会社

コンシューマービジネスカンパニー
白浦 翔太



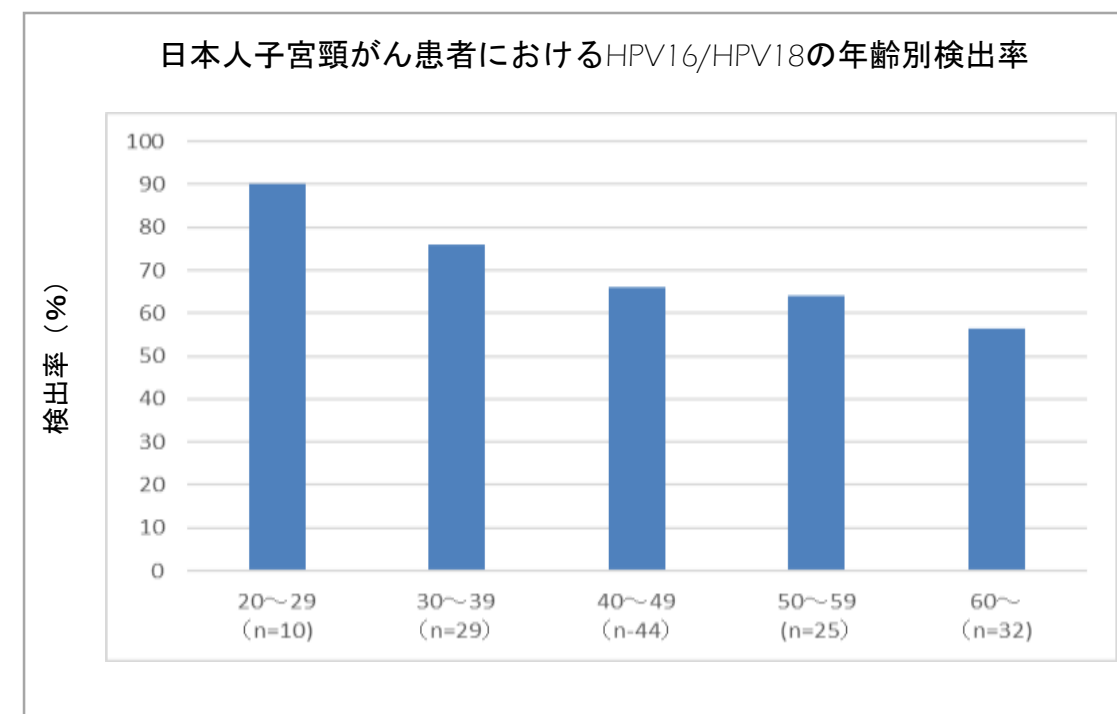
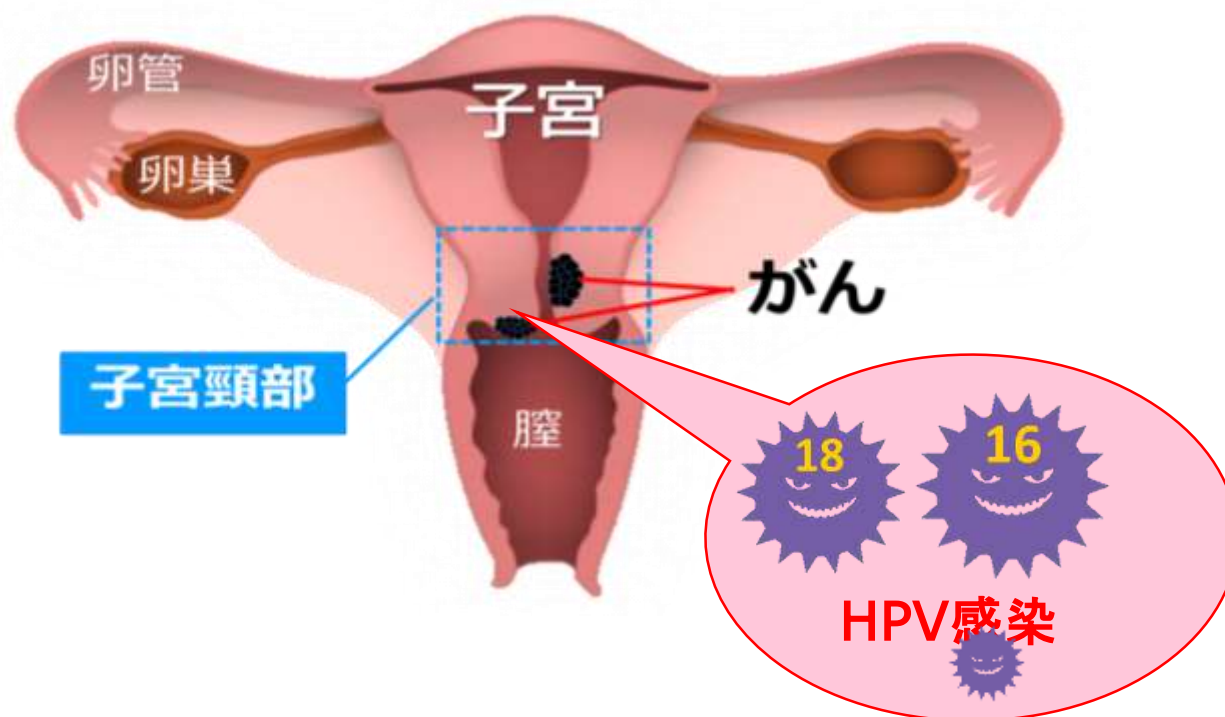
子宮頸がん検診の重要性

子宮頸がんってどんな病気？

- 🏠 子宮頸がんは子宮の入口（子宮頸部）にヒトパピローマウイルス（HPV）が持続的に感染し発症するがんのことです。
- 🏠 HPVはありふれて存在するため、約8割以上の女性が一生に一度は感染すると言われています。
- 🏠 HPVの中でもハイリスクと呼ばれているのは14種類あり、その中でも16型、18型は特に子宮頸がんへ進行する頻度が高く、スピードも速いと言われており、子宮頸がん患者の特に若年層から高い確率で発見されています。

（出典：日本産科婦人科学会HP）

【HPV感染経路イメージ】



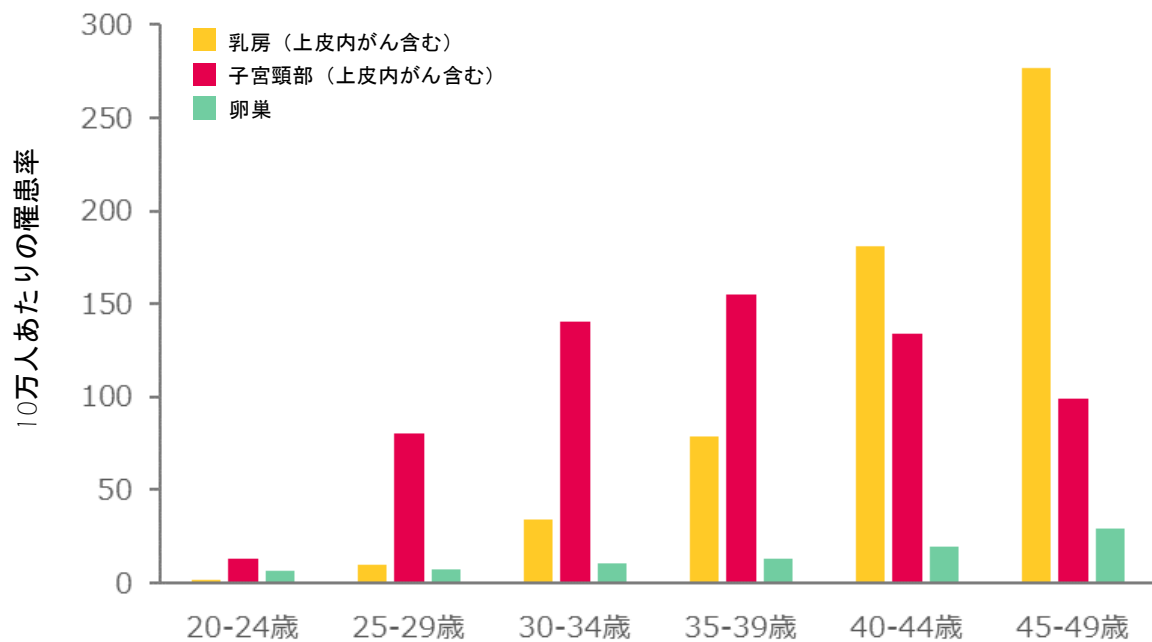
Onuki M et al : cancer Sci 100(7) : 1312-1316.2009 より作図



子宮頸がんは若い女性に多いがんです

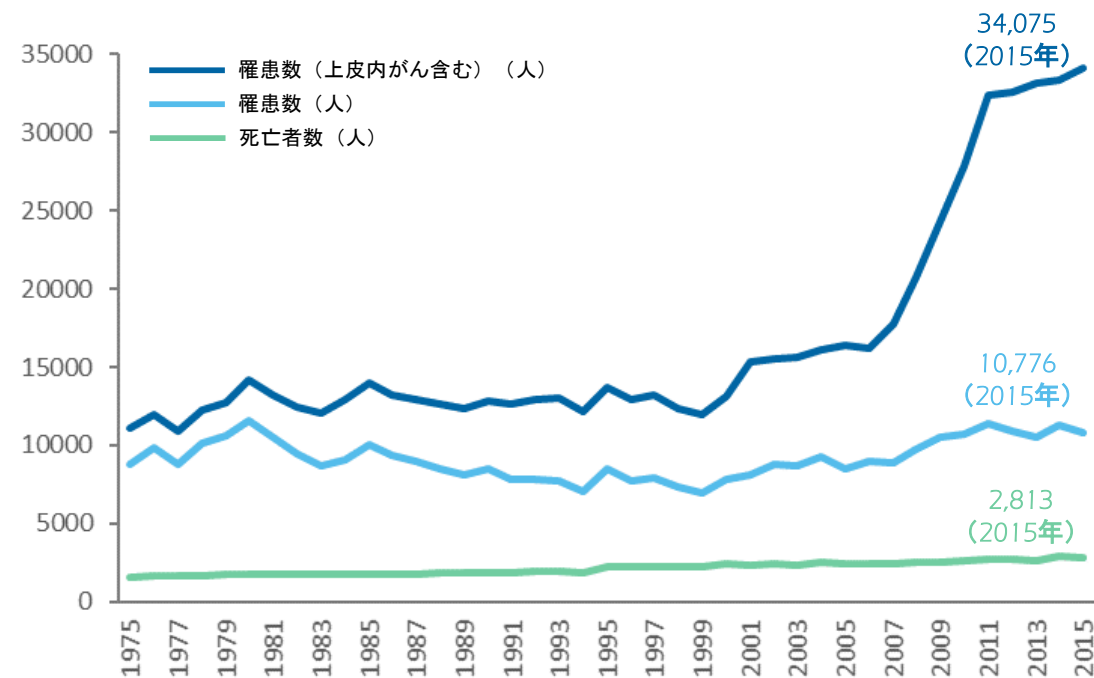
- 🏠 子宮頸がんは20～30歳代の若い女性に多いがんです。
- 🏠 日本では年間で11,000人が子宮頸がんと診断され、上皮内がんを含むと34,000人になります。2015年には約2,900人が亡くなっています。
- 🏠 出産時期と重なることから“マザーキラー”とも言われています。

日本人女性の年齢別がん罹患率（2019年）



国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）より作図

日本人女性の子宮頸がん罹患数と死亡者数

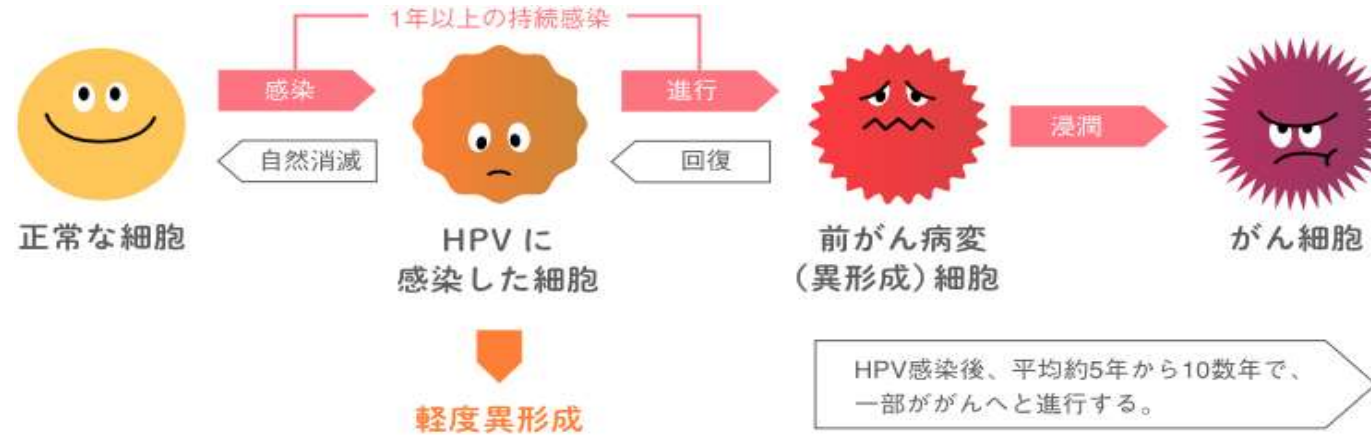


国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）、
国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（厚生労働省人口動態統計）より
作図

HPVに感染すると数年から十数年かけて子宮頸がんに行進します



- HPVに感染してから子宮頸がんに行進するまでの期間は、数年～十数年と考えられています。
- HPVに感染しても90%の人においてはウイルスが自然排除されますが、10%の人ではHPV感染が長期間持続します。
- このうち自然排除しない一部の人は異形成と呼ばれる前がん病変を経て、数年以上をかけて子宮頸がんに行進します。



早期発見できた場合 (無症状)



開腹することなく子宮頸部一部を取るのみで、子宮を温存できます。

進行していた場合 (症状が出てから検査し発覚)

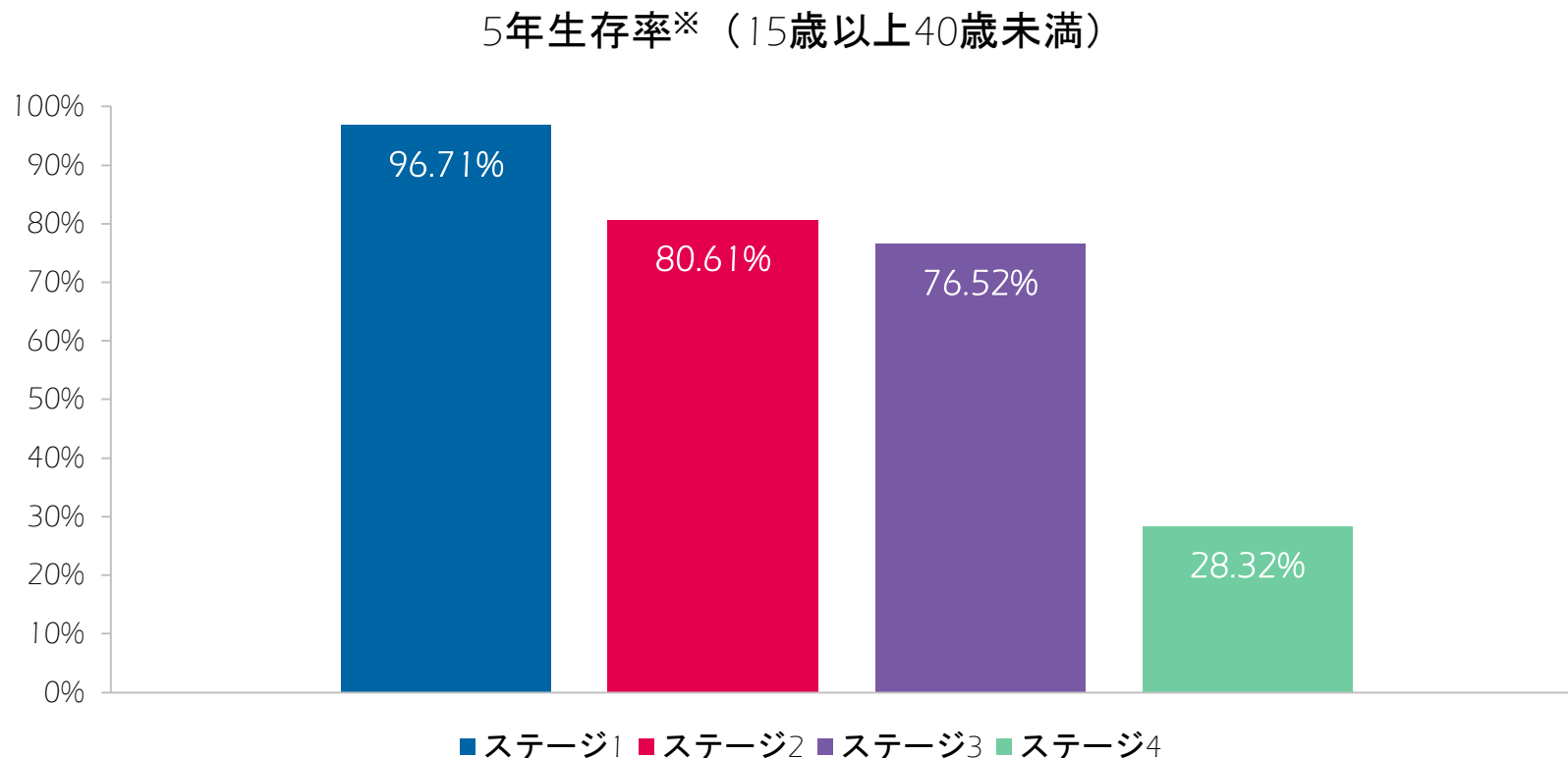


子宮全摘出：開腹もしくは腹腔鏡下手術により、進行次第で
単純子宮全摘出
子宮と一部周囲組織摘出
子宮と周囲組織の広汎摘出

子宮頸がんはがんの進行度で予後が大きく異なります



🏠 40歳までの子宮頸がん患者の5年生存率は、がんが子宮頸部に限局している状態（ステージ1）で97%ですが、膀胱や直腸に浸潤している状態（ステージ4）では、28%と非常に予後が悪いです。



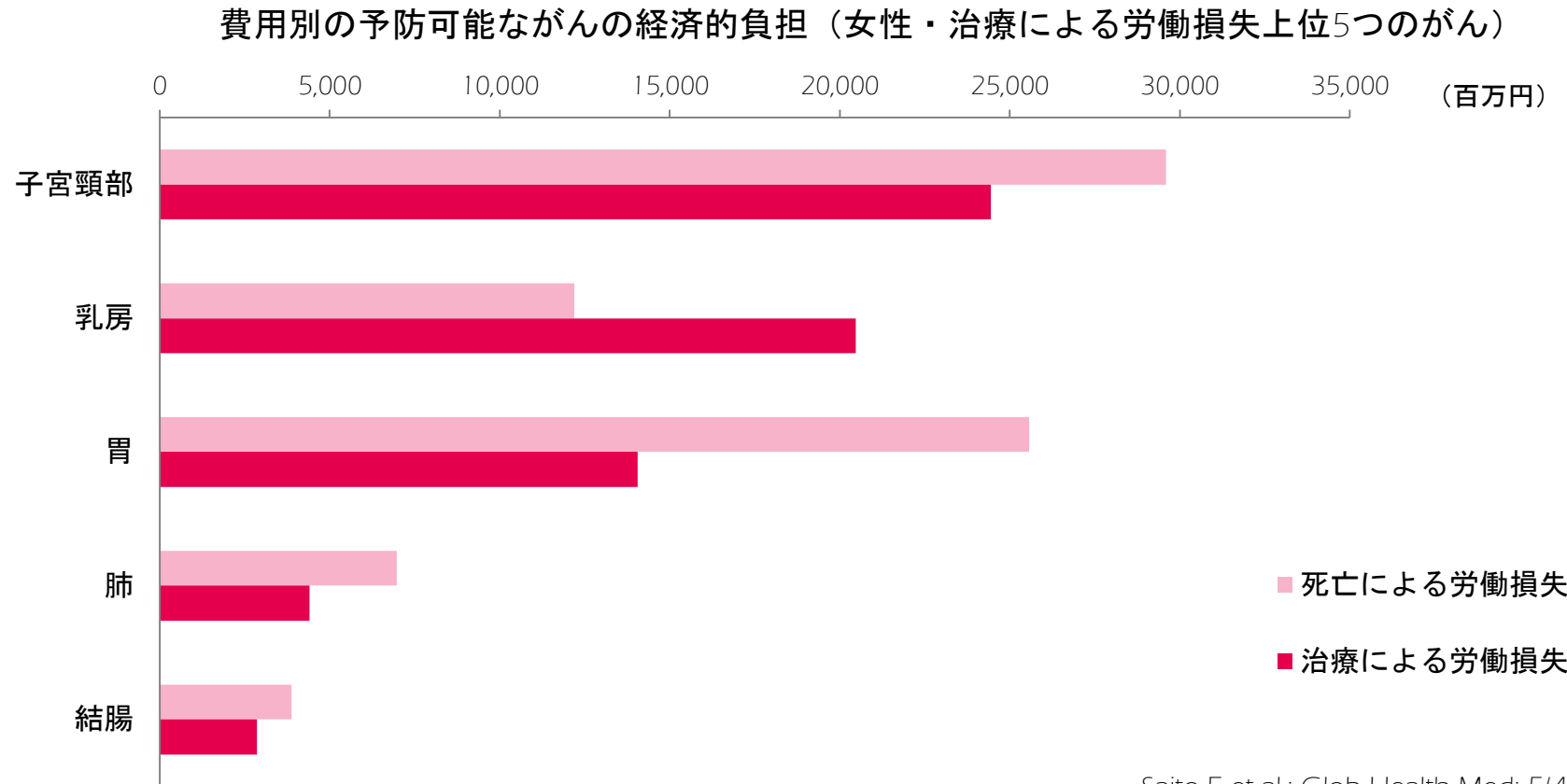
* AYA分類では「子宮頸部・子宮がん」だが、本項目では局在コード C530-531,538,539に限定して子宮頸がんとして定義している（形態コードは変更なし）

※ネット・サバイバルの生存率：「がんのみが死因となる場合の生存率」自体を推計する方法

国立がん研究センター「院内がん登録2011年10年生存率集計」,p73（2024年1月）より作図

子宮頸がんは労働損失による経済的負担が女性で最も大きいがんです

- 🏠 子宮頸がんによる経済的負担は640億円で、女性の予防可能ながんでは胃がんに次いで第2位です。
- 🏠 子宮頸がんは働き盛りの世代の罹患が多いことから、死亡、治療による労働損失が最も大きいことが示されています。
- 🏠 子宮頸がんは、社会全体、企業における女性活躍の推進に向けて積極的な対策や投資が必要ながんです。



Saito E et al.: Glob Health Med; 5(4), 238-245, 2023. より作図



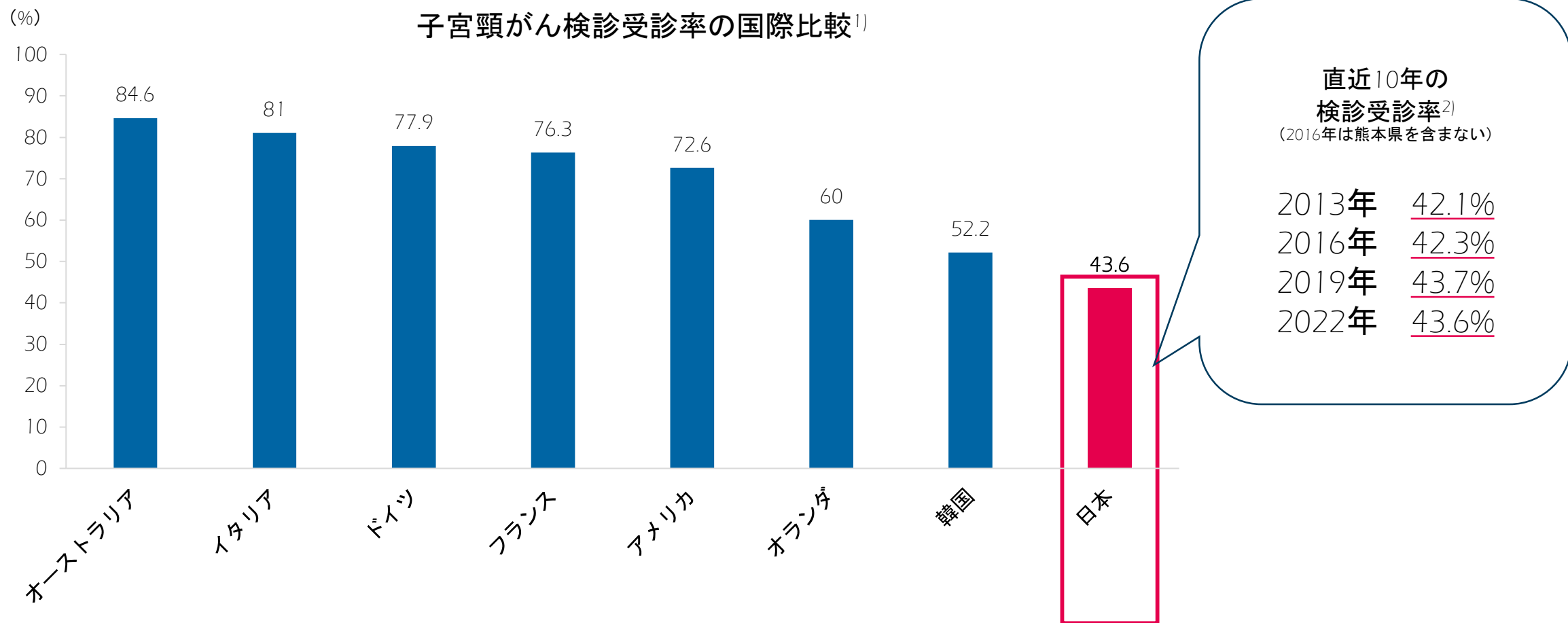
子宮頸がんの置かれている状況

日本人の約60%が子宮頸がん検診を受けていません



🏠 日本の子宮頸がん検診受診率は、諸外国と比較すると低い傾向であり、先進国の中でもワーストレベルです。

🏠 ここ10年間の日本の検診受診率は横ばいのままです。



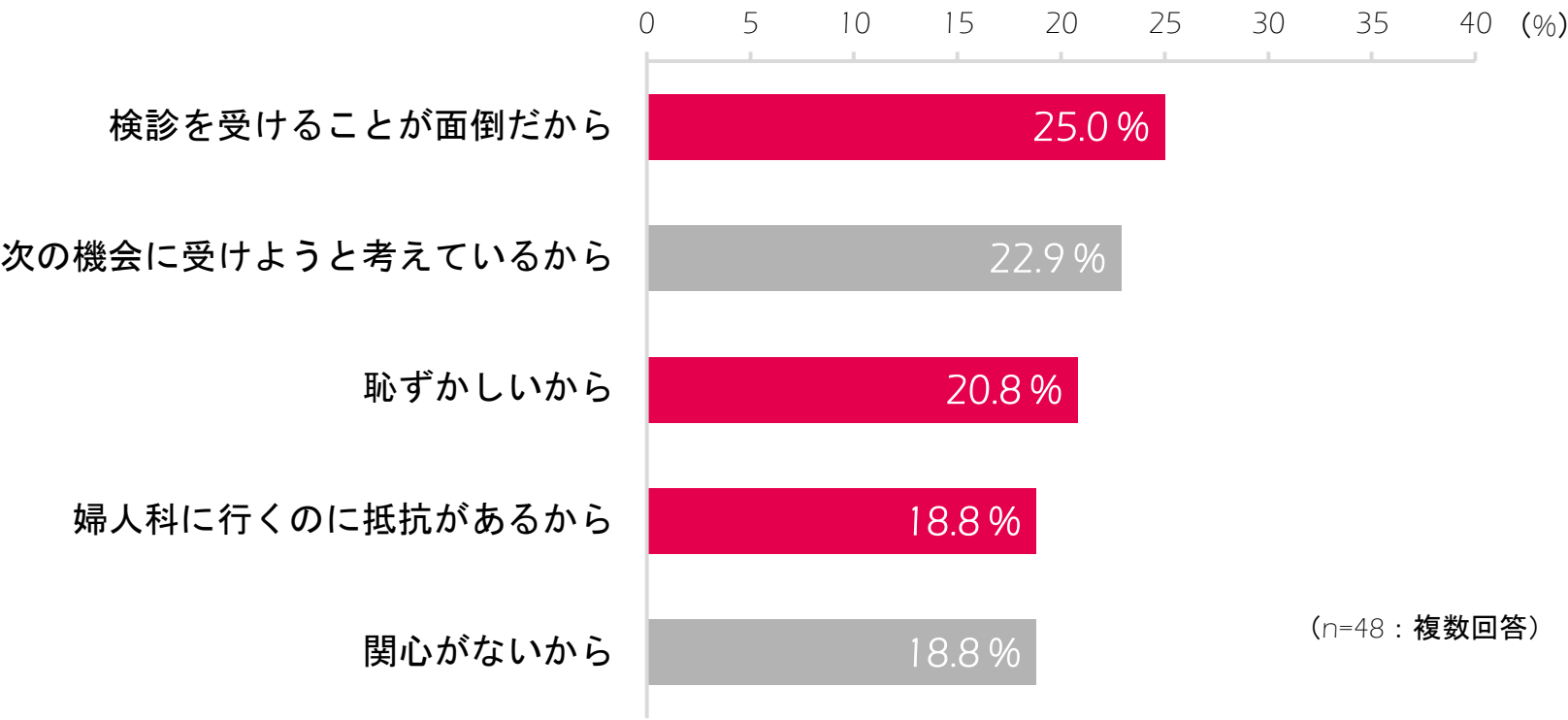
¹⁾ 国立がん研究センター 子宮頸がんその他のヒトパピローマウイルス（HPV）関連がんの予防ファクトシート2023

²⁾ 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」 (https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/screening/screening.html) より作図



子宮頸がん検診を受診していない理由（30代）

- 30代の子宮頸がん検診を受診していない理由Top5のうち、婦人科受診の負担、心理的な負担が多くを占めました。
- これらの負担が未受診理由の場合は、細胞診からHPV検査に変わるだけでは検診受診率は向上しない可能性があります。



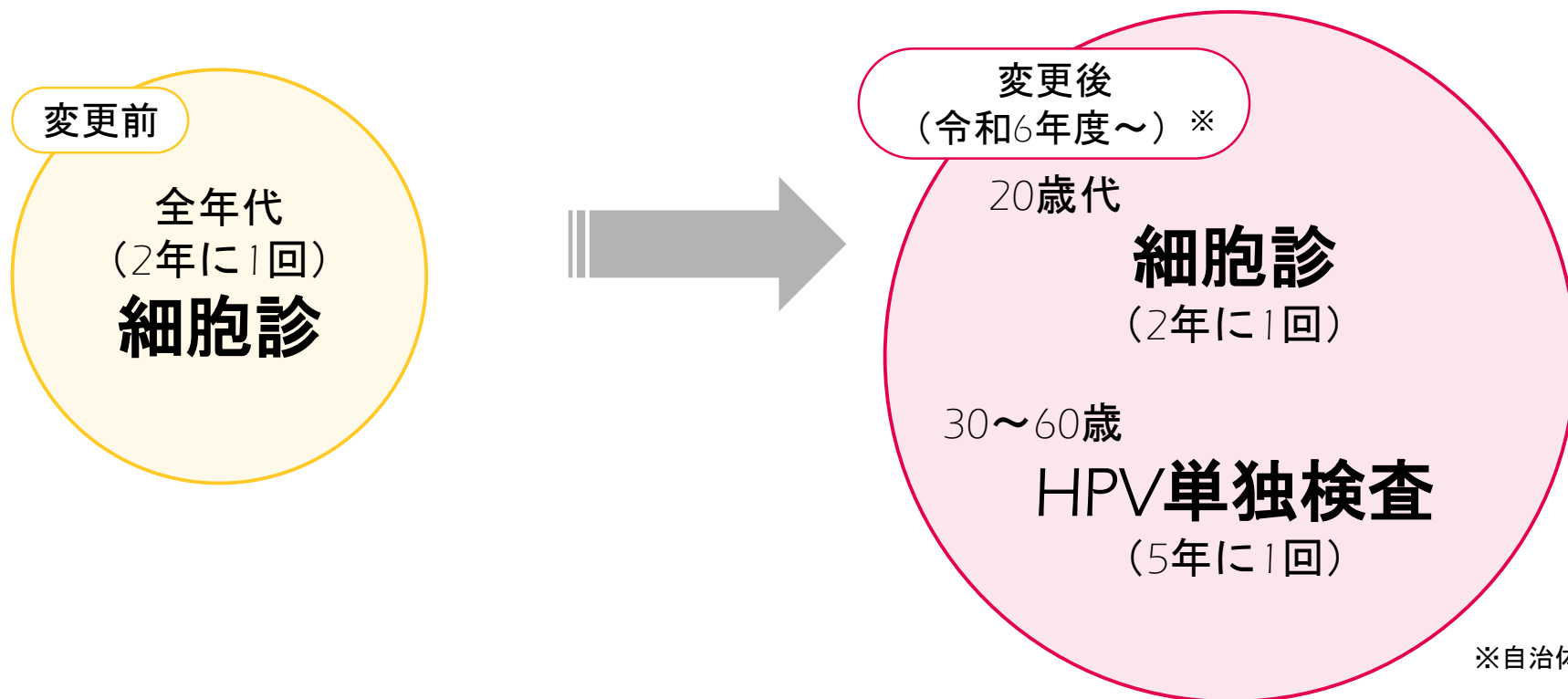
調査方法：楽天インサイトを介したネット調査
調査期間：2021年7月～8月
調査対象：20代から60代の女性1000人のうち検診を1度も受けたことが無いと回答した234人
※上記グラフは調査対象のうち、30代の回答者のTop5を抽出

大野幸子:商経論叢,第57巻(3),153-165,2022.
(<https://kanagawa-u.repo.nii.ac.jp/records/14638>) より作図

令和6年度より子宮頸がん検診にHPV単独検査が用いられることになりました



- HPV単独検査は、2020年に公表された子宮頸がん検診ガイドラインで30～60歳の初回の検診に用いることが推奨されました（推奨度A）。
- ガイドラインでの推奨を受けてこのたび検診マニュアルが変更となり、検診でHPV単独検査が用いられることとなりました。
- HPV検査で8～9割を占める陰性者は5年に1回の検診となり、受診者の負担軽減が期待されます。



※自治体により変更時期は異なります

厚生労働省：第40回がん検診のあり方に関する検討会資料1,p5.（令和5年12月18日）
（<https://www.mhlw.go.jp/content/10901000/001179402.pdf>）より作図

細胞診検査とHPV検査の違い



- 🏠 細胞診は将来的に「がん」に進展する可能性のある細胞を早い段階で見つけ出し、適切な処置をするために有効な検査で、HPV検査は将来的に「がん」化する可能性をウイルスの感染に基づいて判断します。
- 🏠 従来の子宮頸がん検診では細胞診検査が行われてきましたが、HPV検査でHPV感染の有無をはじめに調べることは、誰でも感染する可能性があることや子宮頸がんの原因であることから有用です。

細胞診検査

採取した細胞を顕微鏡の下で直接観察して
細胞に異常がないか（**今、子宮頸がんや前がん病変の**
細胞がないか）どうか確認する方法



早い段階で将来的に「がん」化する可能性を見つけ出し、
対応することによって**未然にがんの発生を予防**
することが可能



HPV検査

子宮頸がんを誘発する可能性のある
HPVの感染の有無を検査する方法



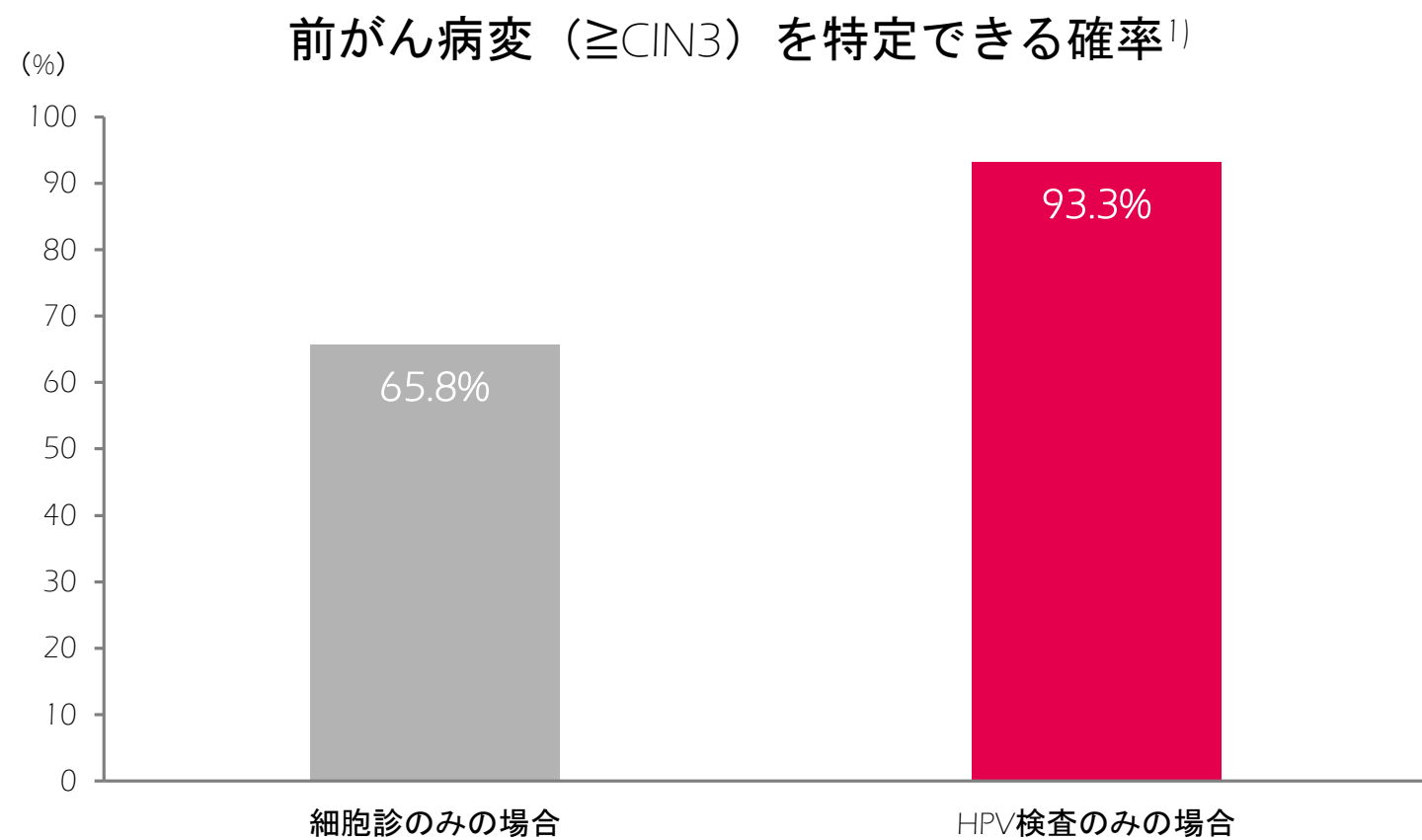
HPVに感染していることが分かれば、将来病変が進行したり、
もしかすると子宮頸がんになるかもしれない、
という予測が可能





HPV単独検査は前がん病変の発見に有効です

- HPV検査を単独で実施した場合、93%の異常を発見することができます
- 多くの国ではHPV検査が検診で使用されています



諸外国のがん検診の検査法/検診間隔²⁾

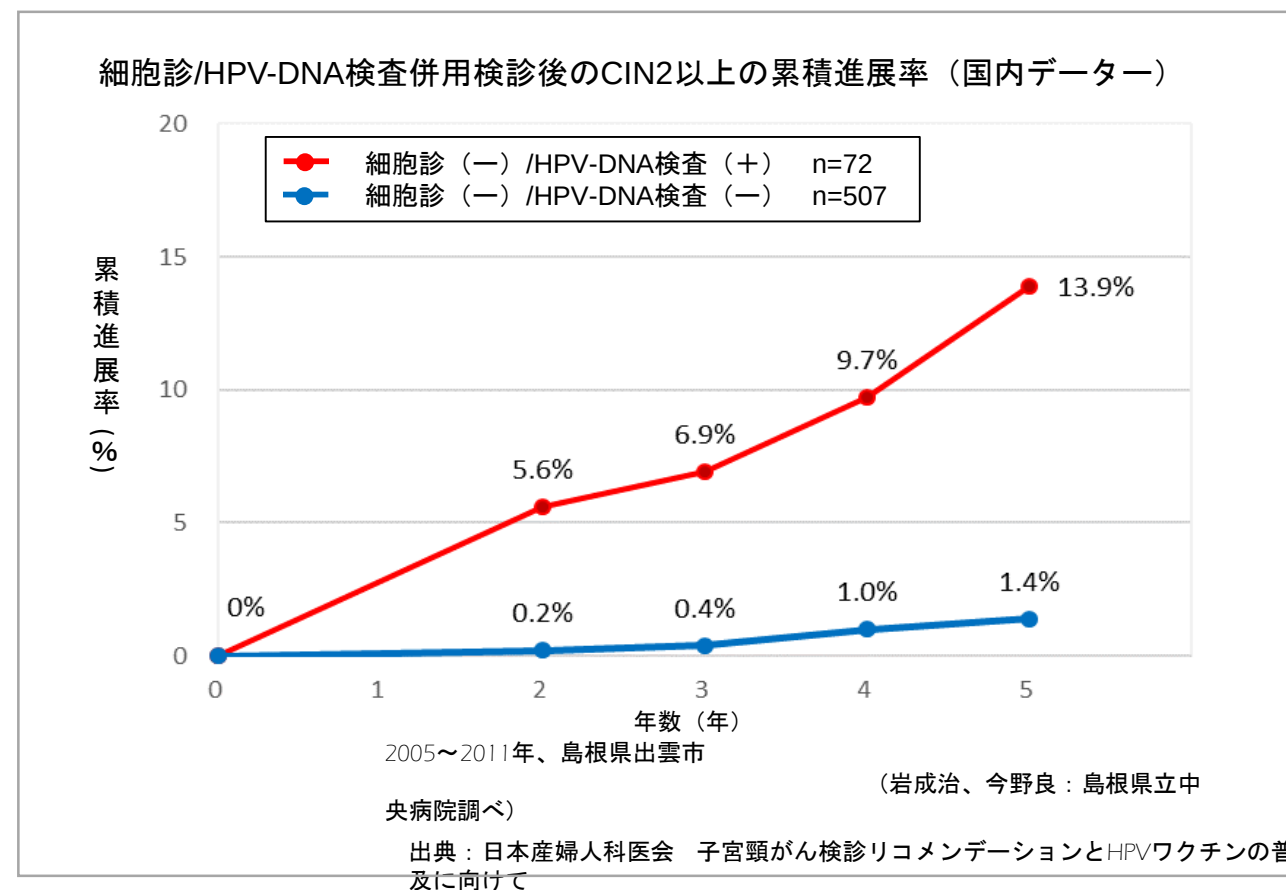
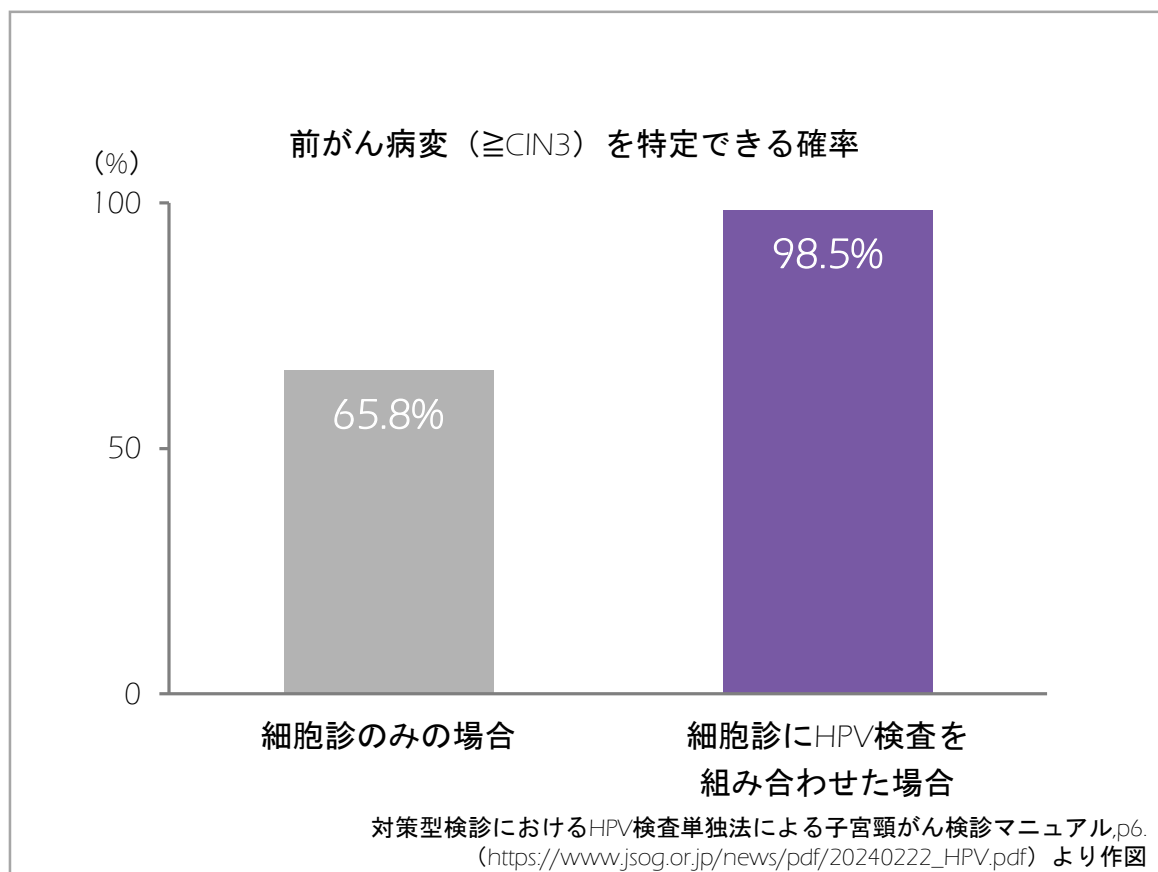
	検査法	陰性者の検診間隔
米国	HPV検査※1	5年
	HPV＋細胞診※1	5年
オーストラリア	HPV検査※1	5年
オランダ	HPV検査※1	5年
イギリス	HPV検査	3年/5年※2
ドイツ	HPV＋細胞診	3年
	細胞診	毎年

※1 自己採取を選択することが可能
※2 年齢により検診間隔が異なる
(2023年7月現在)

1) 対策型検診における HPV 検査単独法による子宮頸がん検診マニュアル,p6. (https://www.jsog.or.jp/news/pdf/20240222_HPV.pdf) より作図
2) 第39回がん検診のあり方に関する検討会 (参考資料6) ,p2. (<https://www.mhlw.go.jp/content/10901000/001132584.pdf>) より作表

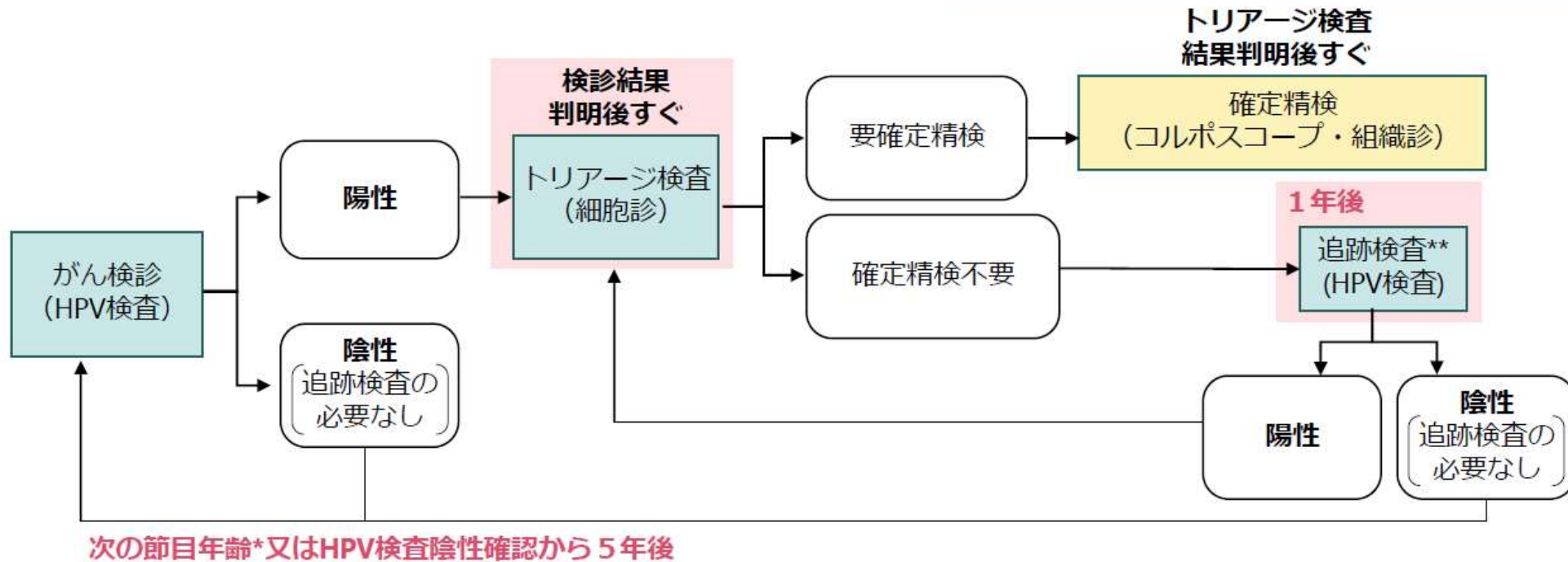
HPV検査と細胞診検査を組み合わせることのメリット

- HPV検査と細胞診検査を組み合わせることで、子宮頸がんの発症リスクを下げるすることができます。
- 細胞診検査が陰性かつHPV検査が陰性であれば、将来的に前がん病変の発生リスクが低くなります。
- 併用検診することで、現時点の病変の有無だけでなく、将来の病変発生リスクがわかります。



HPV単独検査で陽性の場合は速やかに細胞診を行う必要があります

- HPV検査を単独で実施し陽性であった場合は、速やかに細胞診を用いたトリアージ検査を行います。
- その結果、確定精検が不要であった場合は、1年後に追跡検査としてHPV検査を行います。
- HPV検査が陰性の場合の次回検診は5年後です。



■ : 検診事業として実施 ■ : 医療として実施 ■ : 従来の検診では含まれなかった検査

*節目年齢とは、30歳からの5年刻みの年齢のことをいう。

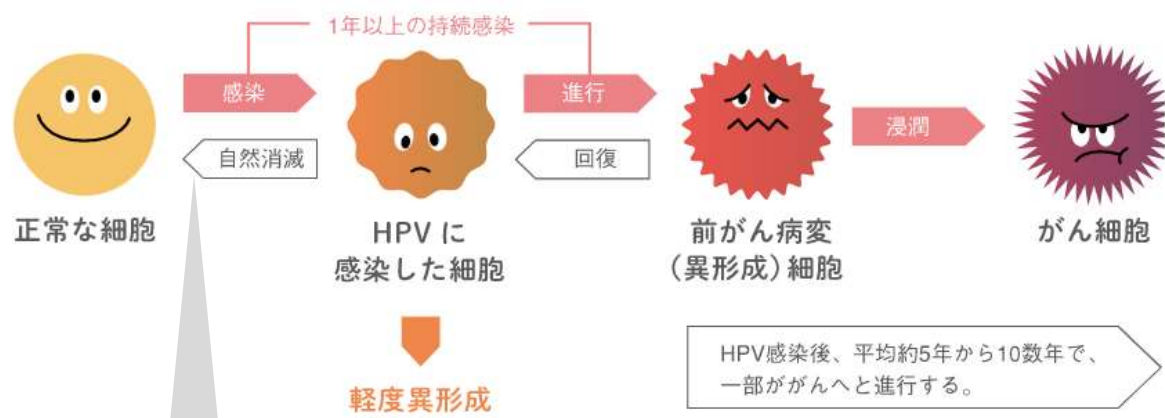
対策型検診における HPV 検査単独法による子宮頸がん検診マニュアル,p12.
(https://www.jsog.or.jp/news/pdf/20240222_HPV.pdf) より作図



子宮頸がんはワクチンで予防できる唯一のがんです

- HPVに感染しなければ、将来の子宮頸がん発症の予防につながります。
- HPVの感染を防止するために子宮頸がんワクチンが効果的です。

HPV感染からがん発症までと子宮頸がんワクチンの関係



ワクチン接種



ワクチンの接種によって、**HPVの感染を予防**することができます。

中等度異形成（CIN2）以上の病変が減少し、治療を必要とする高度異形成（CIN3）以上の病変の減少も認められています。

日本で接種できる子宮頸がんワクチン	
サーバリックス 2価ワクチン	16型、18型HPV(2種類)の感染を予防 
公費接種可能	
ガーダシル 4価ワクチン	16型、18型、6型、11型HPV（4種類）の感染を予防 
公費接種可能	※6型、11型HPVは 尖圭コンジローマに対応
シルガード9 9価ワクチン	16型、18型、31型、33型、45型、52型、58型、6型、11型HPV（9種類）の感染を予防 
2023年4月～ 公費接種可能	※追加された5種類のHPVは、 子宮頸がんハイリスク型

出典元：厚生労働省
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou28/index.html>



シミックグループについて

シミックグループについて

代表取締役CEO

中村 和男

代表取締役COO

大石 圭子

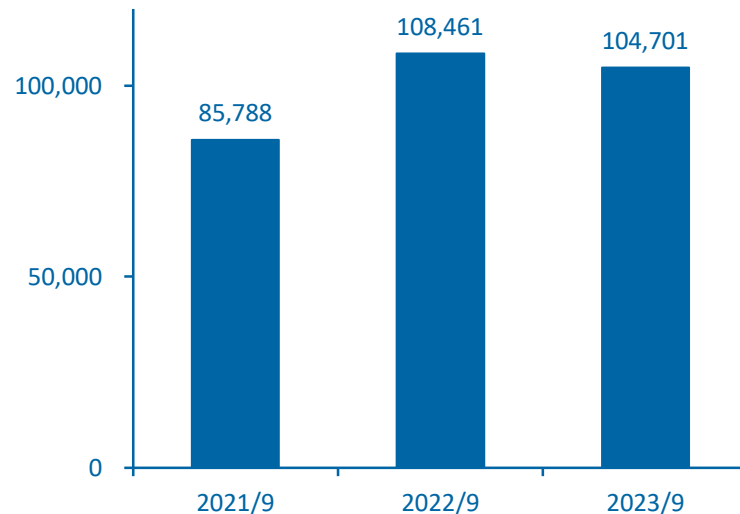


2022年30周年を迎えました

1992年に日本で最初にCRO事業を開始したシミックは、CROのパイオニアかつリーディングカンパニーとして成長を続けています

今ではCROの枠を超えて、医薬品の研究開発から製造、販売まで、製薬企業をフルサポートする体制を確立、ヘルスケア分野に事業領域を拡大しています

(単位：100万円)



予防・未病の推進のための「セルフチェック」

女性特有のライフイベントに則したセルフチェックのサービスをご活用いただくことで、課題の軽減に寄与することが可能です



シミックソリューションズ株式会社 子宮頸がんリスクチェック 「パピア」

子宮頸がんは20～30歳代の女性に最も多いがんで、原因はHPV感染です。パピアは、子宮頸がんの原因となるウイルスに感染しているかどうかを自宅で手軽に検査することができる検査サービスです。



Craif株式会社 がんリスクチェック「マイシグナル」

- ・最大7種のがんを、1回の採尿で同時に、かつ個別にリスク判定することが可能です。
- ・早期発見が難しいすい臓がん、食道がん、卵巣がんも判定可能です



株式会社ヘルスケアシステムズ 郵送検査サービス「ソイチェック」

エクオールは女性ホルモンとよく似たはたらきをし、シワの軽減・更年期症状の緩和・骨密度の維持など、女性の健康と美容に良い効果があると期待されています。



<https://hc-sys.com/service/karadacheck/>



株式会社ウィズネット 乳がん検診手袋

乳がんは自分で見つけることが出来る唯一のがん。早期発見で9割が治るといわれています。早期発見のポイントは、触診(セルフチェック)を習慣化して「いつもと違う」に気付くことです。乳がん検診手袋は触診をサポートするための手袋です。



シミックソリューションズはCraif株式会社、株式会社ヘルスケアシステムズ、株式会社ウィズネットの販売店です

何故「パピア」をご提案しているのか

- 🏠 子宮頸がんに関するサービスを開始し健康保険組合様・自治体様と協力して多くの方に情報提供をしています
- 🏠 サービスの創業者は過去に子宮頸がんでは同僚をなくした経験から一人でも多くの方を救いたいという思いで本事業をスタートしています

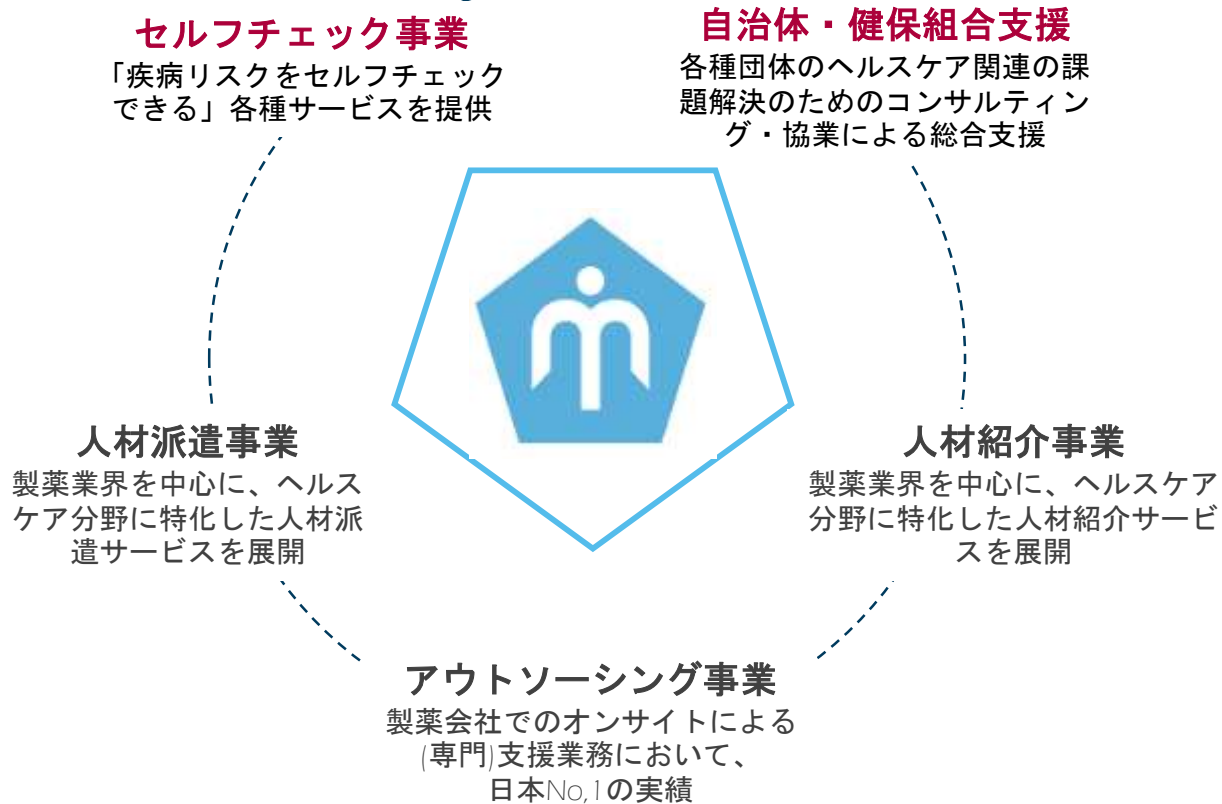
自己採取HPV検査の結果から子宮頸がん検診の受診行動につながる



受診によりその後の通院きっかけをつくることで
子宮頸がんの発症を予防できる

私たちの取組みを子宮頸がん対策のモデルケースとして
一人でも多くの女性が検診を受診し
健康で過ごしていただけることを心から願っています

ヘルスケア全般の課題解決サポート

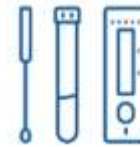


自治体・健保組合支援



- ✓ 健康増進のための健康測定会の企画・運営
- ✓ グリーンシーズンの誘客を支援する「ヘルスツーリズム」
- ✓ 地域課題解決のためのベンダー連携等の総合窓口業務
- ✓ 地域防災対策支援

セルフチェックによる未病・予防対策



- ✓ 子宮頸がん撲滅に向けたHPV自己採取キット「パピア」
- ✓ 尿で7種類のがんのリスクを判定する「マイシグナル」
- ✓ 乳がんの疾患啓発のための「乳がんグローブ」
- ✓ Covid-19/インフルエンザ判定の抗原検査キット
- ✓ 未病・予防のバイオマーカー「カラダのものさし」シリーズ

その他企業・地方自治体の課題解決



- ✓ 健康ポータルサイト「HelC(ヘルシー)」の運営
- ✓ 空気から水を生成する製水器の展開
- ✓ 健診業務のBPO支援

セミナー視聴後アンケートにご協力ください



<https://forms.office.com/r/fSA8QnNyn7>

Contact Us

en.cmicgroup.com

Follow Us



[CMIC Group](#)



[@CMIC_Group](#)



[CMIC Group YouTube Channel](#)